



『発達障害&グレーゾーン子育てから生まれた
楽々かあさんの 伝わる! 声かけ変換』
(大場 美鈴(楽々かあさん)著, あさ出版 ;1,760円)

【本書に収録の声かけ変換の例】
「ここができてないよ」→「ここまでできてね」
「〇〇しちゃダメ!」→「〇〇しよう」
「ちょっと待って」→「あと〇分待ってね」
「宿題、いつまでかかるの!」
→「ここまで終わったら、おやつにしよう」
「ダメ!」→「ここまではいいけど、ここからはダメ」
「空気読んで!」→「今、みんなで〇〇しているところだよ」

子育ての困った場面ですぐ使える166例の声かけ変換と、毎日がラクになる親子コミュニケーションのヒントが満載!



楽々かあさん → 長男はASDの診断とLD+ADHDの傾向がある。次男、長女はいくつか凸凹特徴があるグレーゾーン。
2013年より、「楽々かあさん」として育児の傍ら日々の子育てアイデアをシェア・情報発信する個人活動を開始。
「声かけ変換表」がネット上で14万シェアを獲得して拡散し、話題に。

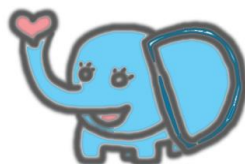
『楽々かあさん公式HP』 <https://www.rakurakumom.com/tools-share>
声掛け変換表など、支援ツールが無料でダウンロードできます。

息子は今年の愛媛マラソンも、無事に完走しました。目標の3時間半にはわずかに届かなかったものの、自己ベストで満足している様子。ただし、今回も父親の方が早く、順位については触れてはいけません。
完走後、会場に設置されていた足湯に浸かっているときにインタビューされ、翌日の地方ニュースに登場しました。それを見た知人から「見たよー」と連絡をいただき、うれしく共に成長を喜んでくれたことをうれしく思います。
マラソン前は緊張のせいかビリビリしていました。ようやく少し落ち着きました。あとは、暖かい春を待つばかりです。(垂)

ダンボクラブでは、発達障がいについて広く理解していただくための啓発活動を行っています。ご賛同いただける方の温かいご支援を募集しています。
ボランティア活動にご興味のある方、ご寄付いただけます方は、下記までご連絡下さい。

お問い合わせ: damboclub@gmail.com
お振込口座: 伊予銀行 小栗支店 普通 1321818

ダンボクラブHP → <https://www.dunboclub.com/>



ダンボ通信

☆第185号☆
発行日: 2025年2月

****ダンボクラブについて****

発達障がいがどのようなものか知っていますか?
私たちは、そんな子どもたちを育てています。
この広報は、ダンボクラブがどんな活動をしているのか知っていただくために作りました。

☆☆☆活動報告☆☆☆

★保護者会 1/25 (土)★

臨床発達心理士、特別支援教育士で教諭の新開多恵先生との勉強会がありました。

★成人当事者会「ワンピース」 1/19(日)★

SST 対話型鑑賞【アートを通じ自分らしさを表現しよう】(於:愛媛県美術館)

参加者13名(うちスタッフ1名)、講師1名、愛媛県美術館作品ガイドボランティアの方2名

今回の SST(アート)は、初めて愛媛県美術館での活動となりました。

1階ロビーに集合後、活動の流れや説明があり、企画展示室へ移動。ガイドボランティアさんより御挨拶があり、1点目の作品が展示されているところに案内されました。(参加者は、ワンピースメンバー以外にも数人いらっしゃいました。)

最初にじっくり観察することを促され、「感じることに正解も間違いもありません。この作品を鑑賞して、感じたり気が付いたりしたことを発表してください」と声を掛けていただきました。手を挙げて、感じたことを次々と発言する中で、さらに発言が増えていくような感じでした。鑑賞したのは、天野方壺さん(山水人物画)と、畦地梅太郎さん(版画)の2点で、いずれも愛媛県出身の方の作品でした。

対話型鑑賞後、展望ロビーで感想をシェアしました。一人で鑑賞するだけでは想像できなかったイメージが、対話することでどんどん広がっていく楽しさを感じたと話し合いました。



★性格悪い★



『エコラリア』とは？

エコラリアは、自閉スペクトラム症(ASD)の子どもたちに高い頻度で見られる特徴の一つです。

エコラリアは、即時性エコラリアと遅延性エコラリアの2つのタイプに分けられます。

	即時性エコラリア	遅延性エコラリア
内容	話しかけた言葉をその場ですぐに繰り返す	以前聞いたフレーズや言葉を、後になって繰り返す
例	「ジュース飲む？」と聞かれて、同じように「ジュース飲む？」とオウム返しする。	アニメの好きな台詞、テレビコマーシャルのフレーズ、読んでもらった物語の文章、好きな曲の歌詞など
発生する理由	・質問自体の意味がわからない ・会話に対する適切な返答ができないため、話された言葉をそのまま返してしまう	・自分を安心させる ・他人の興味を引き、他人と言葉のやり取りをしたい ・現在の状態や行動が、本人の中で関連している ・興奮したときに思わず出る

エコラリアとオウム返しの違いとは？

最大の違いは、それぞれが**どのような文脈で、何の目的でおこなわれるか**ということ
⇒オウム返しは、定型発達の子どもたちが言葉を学ぶための自然な過程の一部として現れます。

⇒エコラリアは、コミュニケーションに困難のある子どもたちの自己刺激の行為として見られます。

エコラリアの場合、言葉を繰り返すこと自体が目的になることがあり、その言葉が持つ具体的な意味やコミュニケーションとしての機能を果たしていないことがあります。

しかし、エコラリアは**子どもが成長するための自然なプロセス**であり、**コミュニケーションを試みているサイン**です。このため、周囲が温かく受け止め、肯定的に向き合うことが非常に重要です。

